

# 2019年3月期 第3四半期 決算説明資料

株式会社キトー（東証1部：6409）

2019年2月7日

# 2019年3月期 第3四半期 サマリー

## 概況

幅広い顧客基盤の需要に支えられ、グループ全体で増収増益

## 業績

(単位:百万円)	2019/3 Q3	前年同期比
売上高	43,737	+ 13.0%
営業利益	4,695	+ 80.1%
当期純利益※	3,169	+ 101.1%

※親会社株主に帰属する四半期純利益 / 為替平均レート 1ドル=111.1円

## 総括

- ・ 主要市場において資源、インフラ、民間各設備投資の需要は良好
- ・ 減速を懸念される中国においても内需を中心とした産業の需要は堅調
- 取り組み
  - ・ 旺盛な需要を捉えるべく、増産体制を継続
  - ・ 基幹システムの安定運用による生産効率向上
  - ・ M&Aにより取得した欧州子会社との相乗効果を拡大
- △ 懸案
  - ・ 為替水準、資材費、米中通商政策などは引き続き注視

1

## 2019年3月期 第3四半期 決算報告

2

## 2019年3月期 見通し

3

## 参考資料

- ・ 過去5期分の業績・財務情報（2014年3月期-2018年3月期）
- ・ 中期経営計画（2017年3月期-2021年3月期）

# 2019年3月期 第3四半期 決算ハイライト

(単位 百万円)	2018/3期 Q3 累計 (4~12月)	2019/3期 Q3 累計 (4~12月)	前期比
売上高	38,712	43,737	+13.0%
売上総利益 (売上総利益率)	13,495 (34.9%)	16,408 (37.5%)	+21.6%
営業利益 (営業利益率)	2,607 (6.7%)	4,695 (10.7%)	+80.1%
営業外収益	145	187	
営業外費用	688	729	
経常利益 (経常利益率)	2,064 (5.3%)	4,153 (9.5%)	+101.2%
特別損益	—	82	
法人税等	430	965	
親会社株主に帰属する 当期純利益 (当期純利益率)	1,576 (4.1%)	3,169 (7.2%)	+101.1%
EBITDA =営業利益+償却費	4,416	6,704	

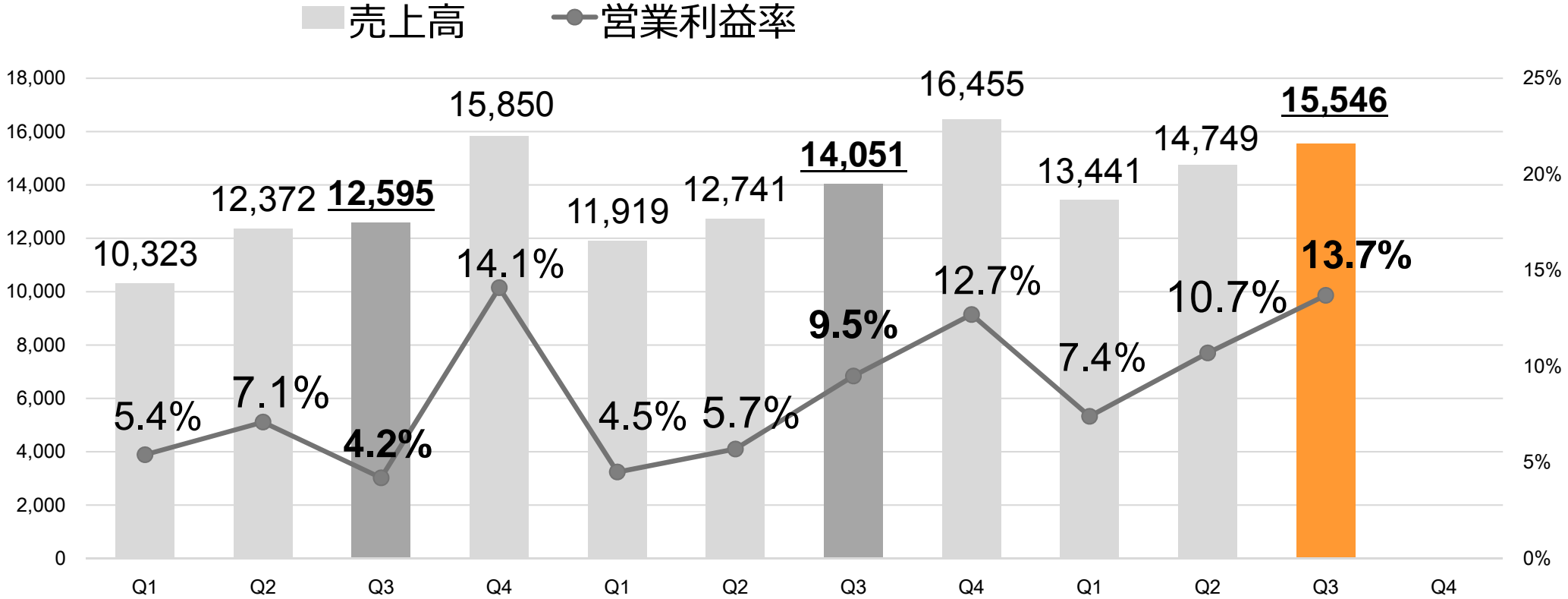
注 為替レート (2018/3期Q3→2019年/3期Q3) :

USD 111.7→111.1円 CAD 86.7→85.1円 EUR 128.5→129.5円 RMB 16.5 →16.8円

# 売上高および営業利益率（四半期比較）

**グローバルでの旺盛な需要が継続し増収、増産効果は利益にも貢献**

(単位：百万円)



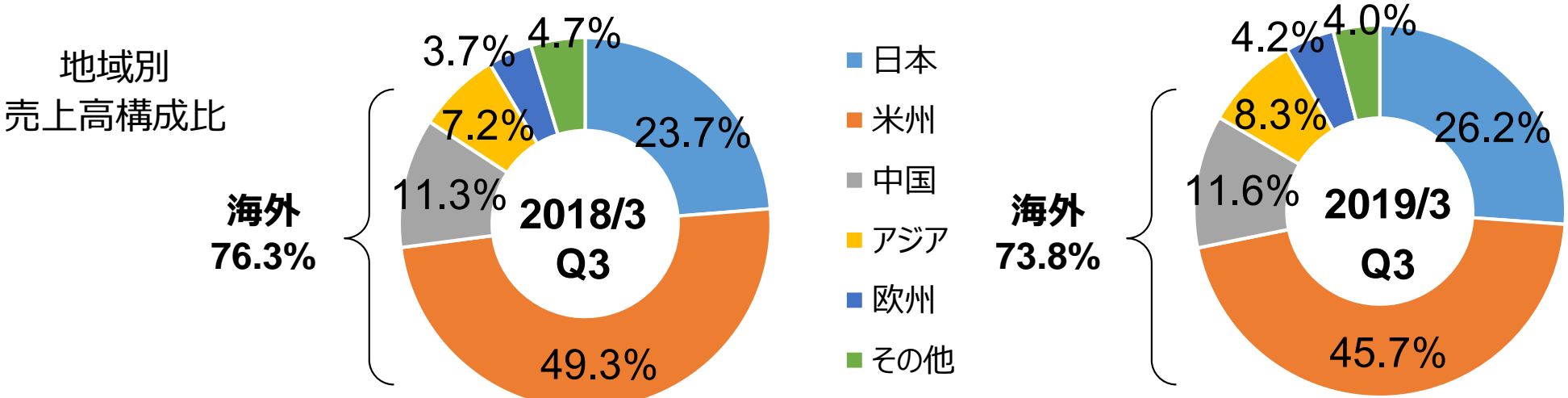
Year/Quarter	Q1	Q2	Q3	Q4
2017	5.4%	7.1%	4.2%	14.1%
2018	4.5%	5.7%	9.5%	12.7%
2019 (Forecast)	7.4%	10.7%	13.7%	-

Year/Quarter	2017/3期	2018/3期	2019/3期 (予)
売上高	51,141	55,168	60,000
営業利益	4,208	4,698	6,000

# 地域別の状況

(単位：百万円)	2017/3期 Q3		2018/3期 Q3		2019/3期 Q3		前期比	
		構成比		構成比		構成比	増減額	増減率
<b>売上状況</b>	35,291	100.0%	38,712	100.0%	43,737	100.0%	5,024	13.0%
<b>日本</b>	9,240	26.2%	9,193	23.7%	11,440	26.2%	2,246	24.4%
<b>米州</b>	17,300	49.0%	19,070	49.3%	20,003	45.7%	932	4.9%
<b>中国</b>	3,744	10.6%	4,370	11.3%	5,062	11.6%	691	15.8%
<b>アジア</b>	2,863	8.1%	2,798	7.2%	3,639	8.3%	840	30.0%
<b>欧州</b>	991	2.8%	1,451	3.7%	1,822	4.2%	371	25.6%
<b>その他地域</b>	1,150	3.3%	1,828	4.7%	1,769	4.0%	▲58	▲ 3.2%

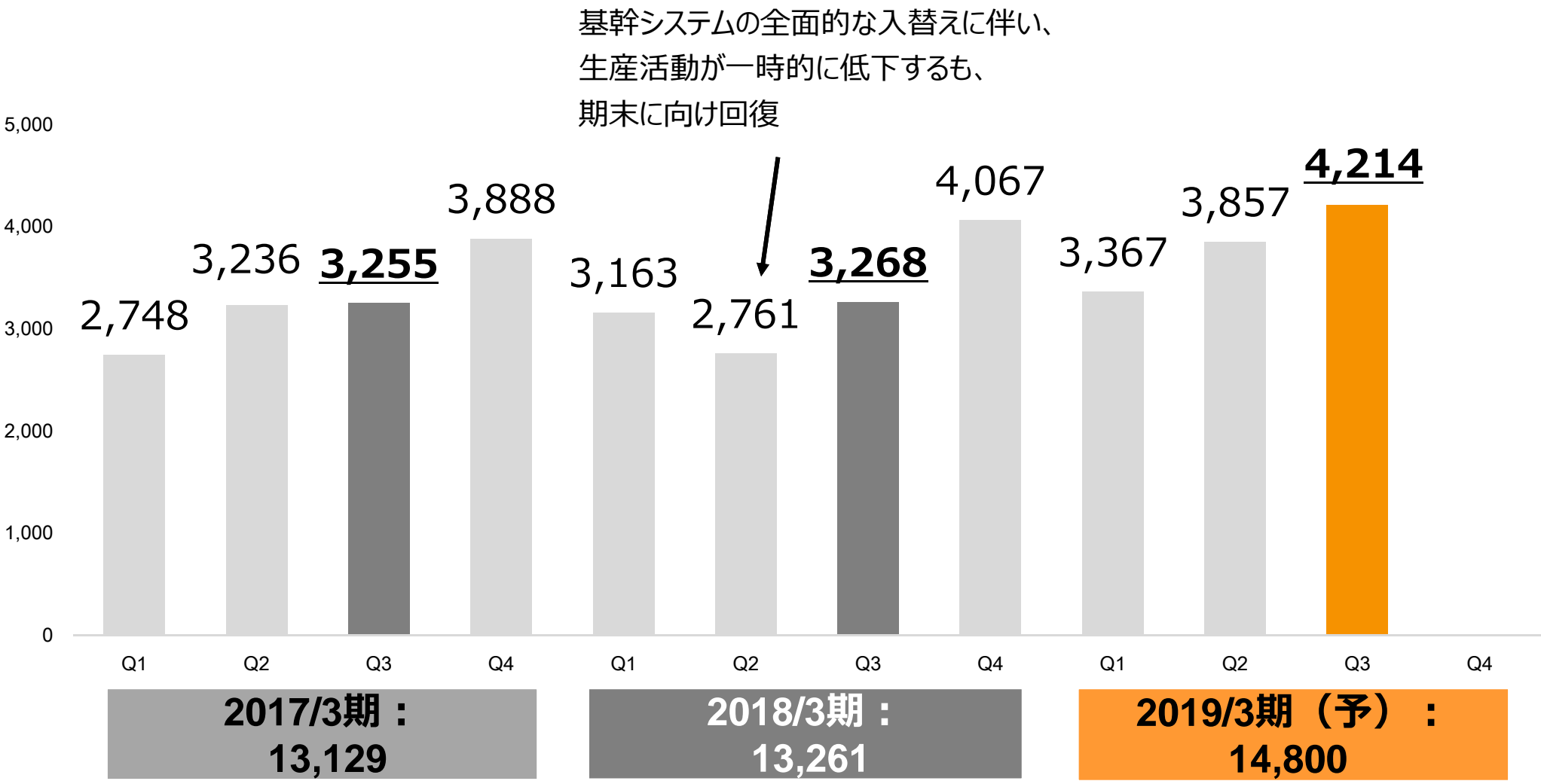
注 為替レート (2018/3期 Q3→2019/3期 Q3) :  
 USD 111.7→111.1円 CAD 86.7→85.1円 EUR 128.5→129.5円 RMB 16.5→16.8円



# 地域別売上高（日本）

- インフラ関連及び民間設備投資共に、旺盛な需要が継続

（単位：百万円）



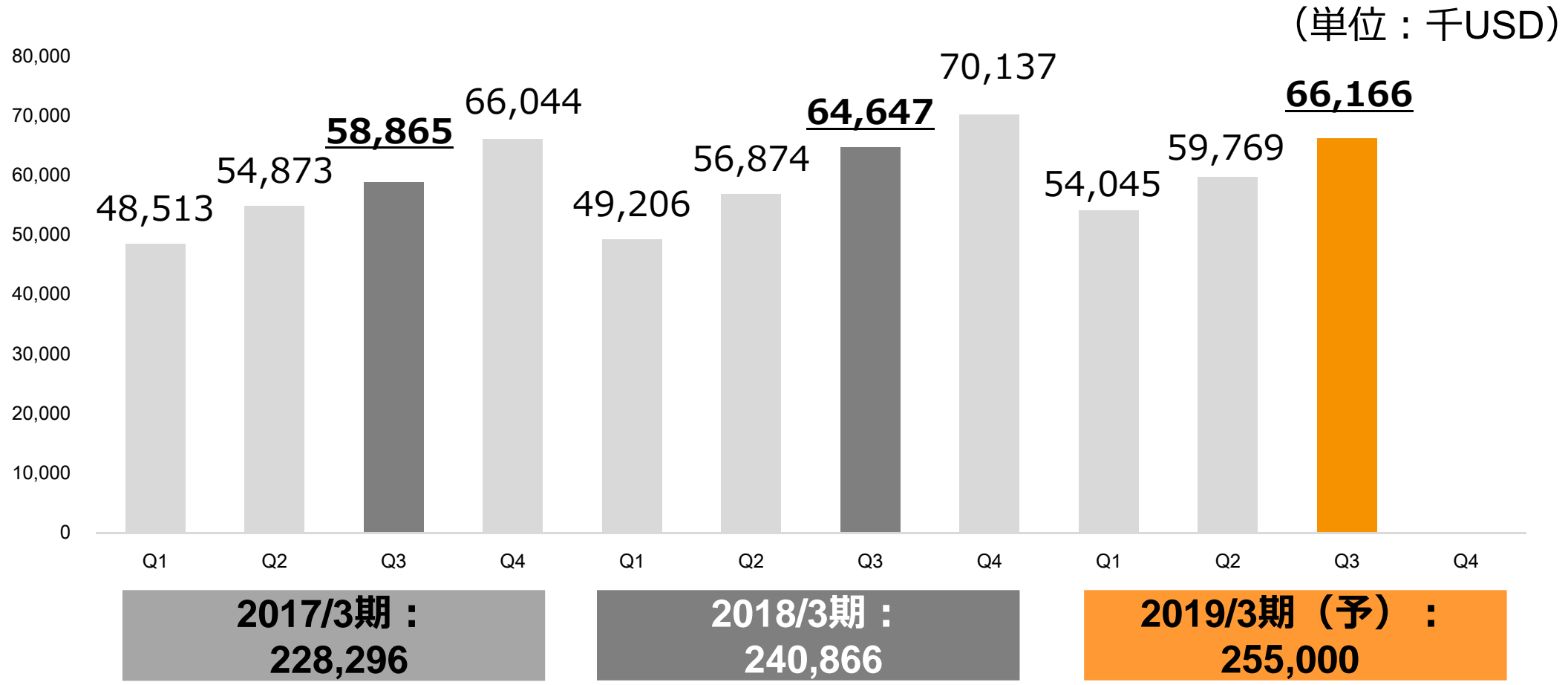
# 地域別売上高（米州）

※グラフは米国市場売上高にカナダ及び中南米市場（USDドル換算）を加算した金額の推移

## ◇米州事業の特徴

日本と同様にホイストを中心としたマテハン事業に加えて、ピアレス社のクサリ関連事業で構成

- 民間設備投資、インフラ関連、資源関連需要とも好調でマテハン事業が伸長
- 対中貿易摩擦、政権運営等による影響、資源価格の動向には注視





# 地域別売上高（中国）

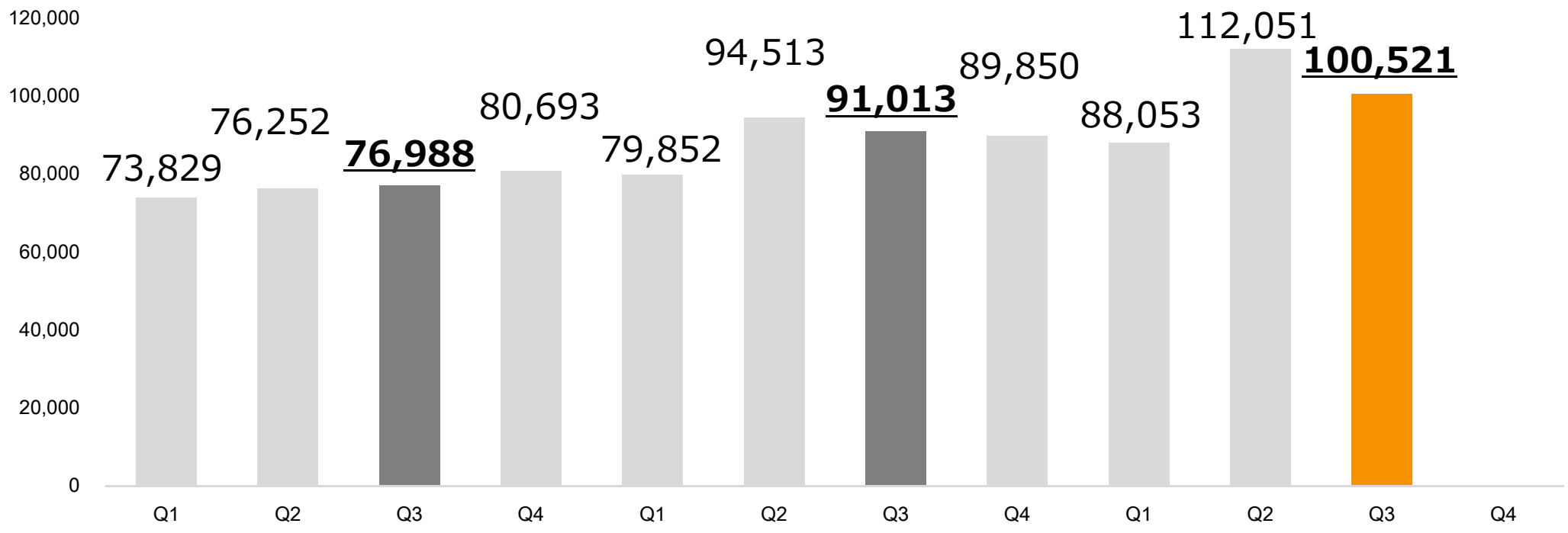
※中国は1-12月決算

◇中国事業の特徴：

中国市場向けロープホイストの製造販売と、日本からの高機能製品の輸入販売が事業の2本柱

- 景気減速が顕在化するなか、半導体・EV、電力・鉄道等、好調産業の需要が牽引
- 収益性を重視した事業運営により利益は大幅に伸長
- 今後の政府による景気刺激策に期待

(単位：千RMB)



**2017/3期：**  
**307,762**

**2018/3期：**  
**355,229**

**2019/3期（予）：**  
**388,235**

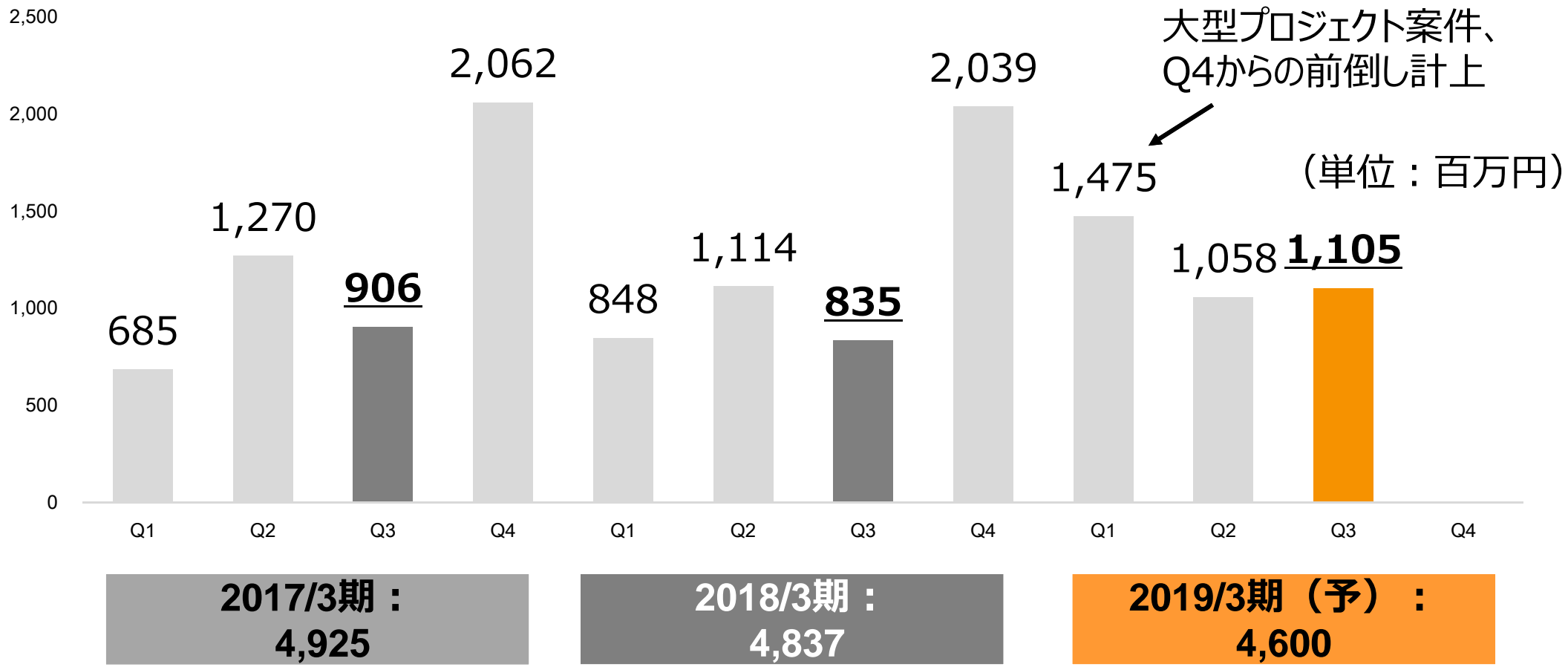
# 地域別売上高（アジア）

※タイ、韓国、台湾は1-12月決算、インドネシア、インドは4-3月決算

◇アジア事業の特徴：

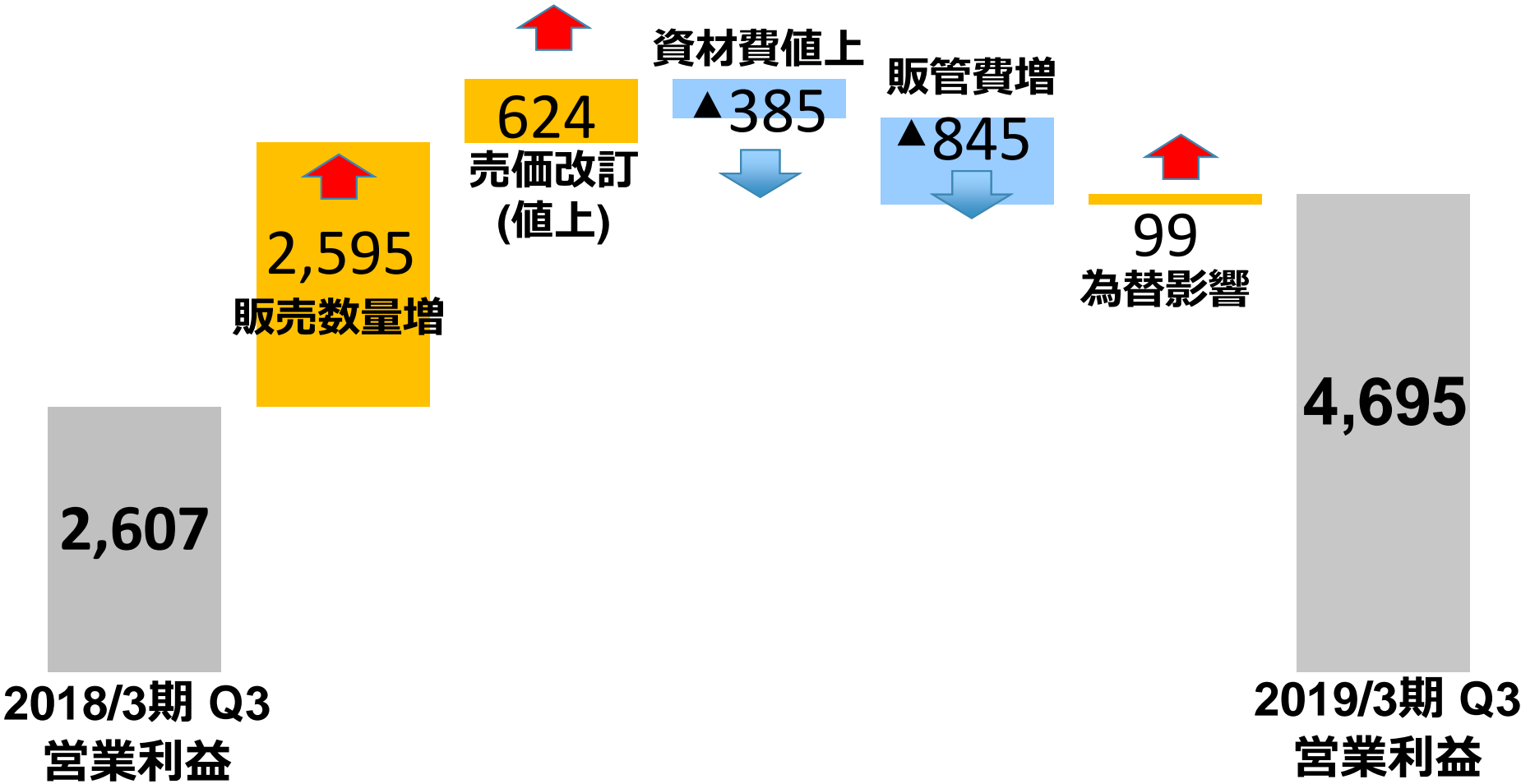
韓国、タイで、当地域の売上の約75%を占める。事業構造を見直し収益性拡大を図る。

- 東南アジアは自動車関連産業を中心に堅調に推移
- ホイスト販売の拡大に加え、クレーン事業の収益性も大幅に改善
- 韓国におけるフラットパネルディスプレイの需要は大幅に減速



# 営業利益の比較

(単位：百万円)



# 2019/3期 Q3 連結貸借対照表（前年同期比較）

単位：百万円	2018/3期 Q3	2019/3期 Q3	増減額
<b>流動資産</b>	38,029	39,319	1,290
現金及び預金	10,071	8,471	▲ 1,599
受取手形及び 売掛金	10,058	11,558	1,500
たな卸資産	16,946	18,057	1,110
その他	952	1,232	279
<b>固定資産</b>	22,915	22,447	▲ 467
有形固定資産	11,731	10,704	▲ 1,027
無形固定資産	7,399	6,356	▲ 1,043
投資その他の資産	3,784	5,386	1,602
<b>資産合計</b>	60,944	61,766	822

単位：百万円	2018/3期 Q3	2019/3期 Q3	増減額
<b>流動負債</b>	17,734	19,140	1,405
支払手形及び 買掛金	5,856	6,791	934
短期借入金 *	5,864	6,863	999
その他	6,014	5,485	▲ 528
<b>固定負債</b>	20,560	16,624	▲ 3,935
長期借入金	16,513	13,437	▲ 3,075
その他	4,046	3,186	▲ 859
<b>純資産合計</b>	22,649	26,001	3,352
<b>負債純資産合計</b>	60,944	61,766	822

\* 1年内返済予定の長期借入金を含む

1

2019年3月期 第3四半期 決算報告

2

2019年3月期 見通し

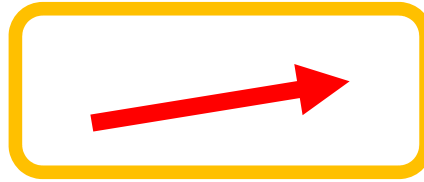
3

参考資料

- ・ 過去5期分の業績・財務情報（2014年3月期-2018年3月期）
- ・ 中期経営計画（2017年3月期-2021年3月期）

# 2019年3月期の見通し

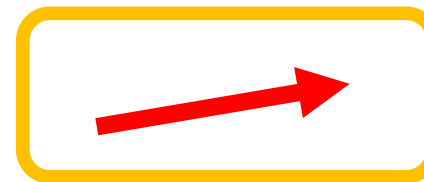
## 日 本



- 市場環境**
- 民間設備投資は引き続き堅調、持続的な成長を期待
  - インフラ整備ほか建築土木の需要は拡大傾向

- 取り組み**
- 新基幹システムの安定運用。需要増に応えるべく増産を継続
  - 品揃え拡大、特定業界専任営業の強化、クレーンビルダーとの連携強化

## 米 州



- 市場環境**
- 需要は幅広い産業で底堅く推移
  - 政権運営による一時的な停滞感はあるものの需要は底堅く推移

- 取り組み**
- eコマース導入による顧客満足度向上
  - 品揃えを拡充し、顧客を取り込む

# 2019年3月期の見通し

## 中 国



### 市場環境

- EVを中心とした内需関連の設備投資が継続
- 政府の環境対策への対応

### 取り組み

- 好調業種の設備投資需要を捉え、販売拡大を図る
- コスト削減による利益改善策を継続

## ア ジ ア



### 市場環境

- 東南アジアを中心とした設備投資需要は堅調
- 韓国市場の液晶・有機ELディスプレイ向け投資は減速

### 取り組み

- クレーンのメンテナンスなどサービス事業、ホイスト販売の強化
- 事業効率化による利益改善策を継続

## 欧 州



### 市場環境

- 幅広い産業での緩やかな需要拡大を見込む

### 取り組み

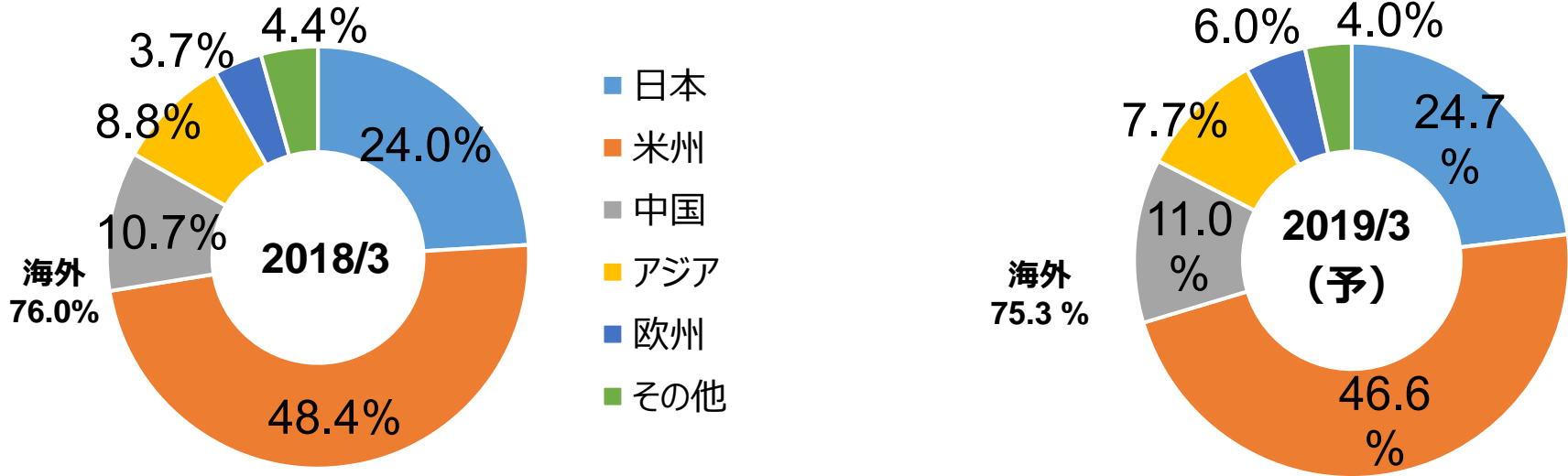
- 子会社、関連会社との相乗効果拡大、さらなる市場の開拓

# 2019年3月期 業績予想 (地域別)

(単位：百万円)	2018/3期		2019/3期 (予想)		前期比	
		構成比		構成比	増減額	増減率
売上状況	55,168	100.0%	60,000	100.0%	4,832	8.8%
日本	13,261	24.0%	14,800	24.7%	1,539	11.6%
米州	26,700	48.4%	28,000	46.6%	1,300	4.9%
中国	5,903	10.7%	6,600	11.0%	697	11.8%
アジア	4,837	8.8%	4,600	7.7%	▲237	▲4.9%
欧州	2,060	3.7%	3,600	6.0%	1,540	74.8%
その他地域	2,404	4.4%	2,400	4.0%	▲4	▲0.2%

注 為替レート (2018/3期→2019/3期) :  
 USD 110.9→110.0円 CAD 86.5→85.0円 EUR 129.7→130.0円 RMB 16.6 → 17.0円

地域別  
売上高構成比





# 2019年3月期 業績予想

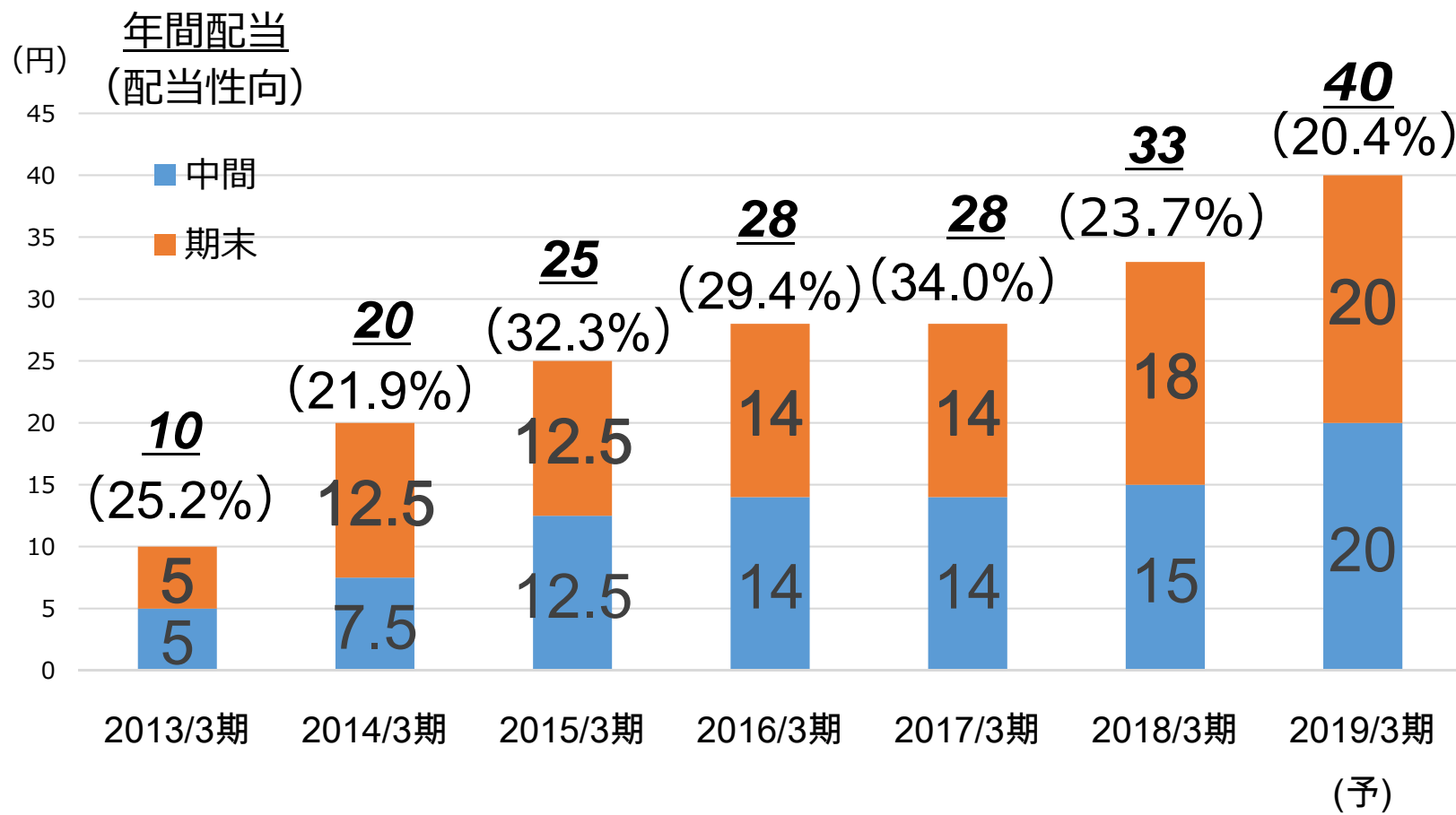
(単位 百万円)	2018/3期	2019/3期 (予)	前期比
売上高	55,168	60,000	8.8%
営業利益 (営業利益率)	4,698 (8.5%)	6,000 (10.0%)	27.7%
経常利益 (経常利益率)	3,791 (6.9%)	5,700 (9.5%)	50.3%
親会社株主に帰属する 当期純利益 (当期純利益率)	2,836 (5.1%)	4,000 (6.7%)	41.0%
EBITDA =営業利益+償却費	7,142	8,800	23.2%
設備投資	1,411	2,310	

注 為替レート (2018/3期→2019/3期3Q以降) :

USD 110.9 → 110.0円 CAD 86.5 → 85.0円 EUR 129.7 → 130.0円 RMB 16.6 → 17.0円

# 株主還元方針／配当予想

配当性向20%以上を目処に  
年間配当額 33円 から40円に増配予定



(注) 以下の株式分割を行っており、上記配当額は当該株式分割を勘案した数値を記載しております。

2013年4月1日付：普通株式1株→100株、2014年10月1日付：普通株式1株→2株

(注) 2014/3期につきましては、2014年10月1日の株式分割前となる中間期の実際の1株当たり配当額は25円となり、株式分割後の期末の1株当たり配当額は2分割後の12.5円となります。

1

2019年3月期 第3四半期 決算報告

2

2019年3月期 見通し

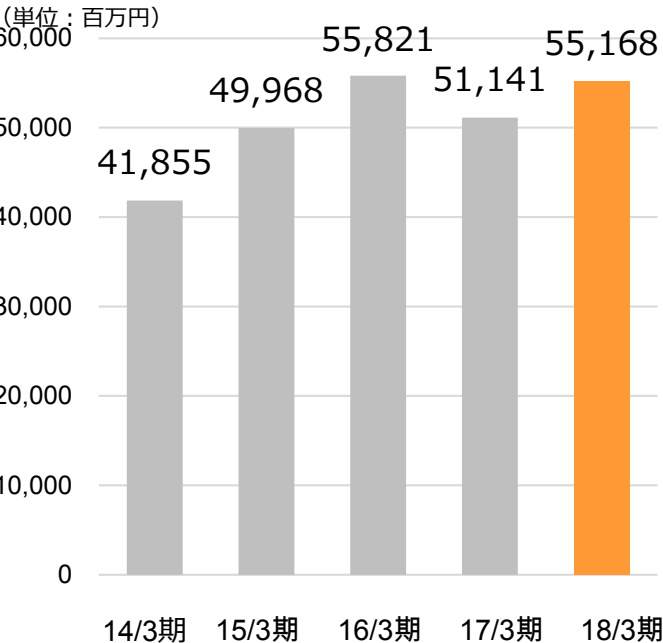
3

**参考資料**

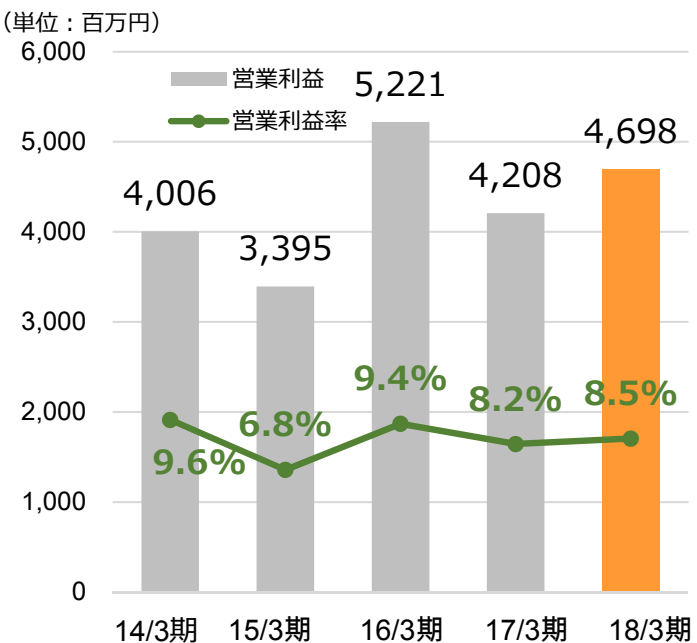
- 過去5期分の業績・財務情報（2014年3月期-2018年3月期）
- 中期経営計画（2017年3月期-2021年3月期）

# 業績・財務情報

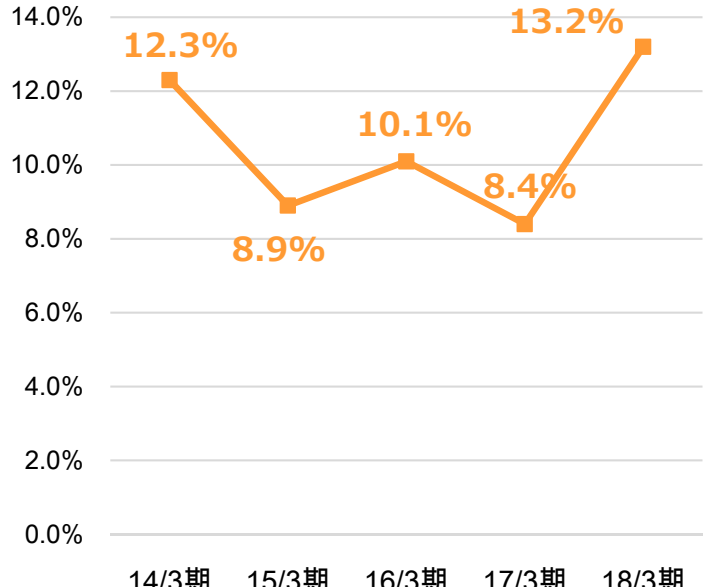
## 売上高



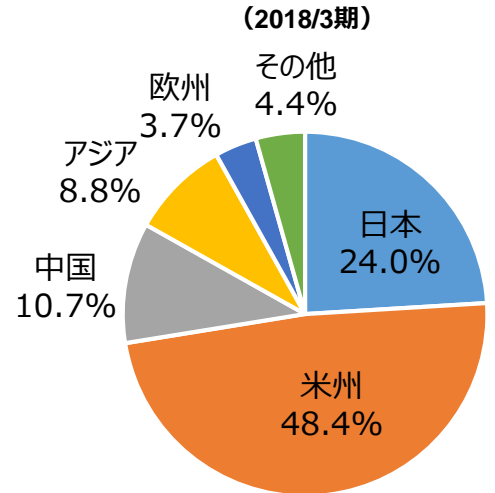
## 営業利益・営業利益率



## ROE

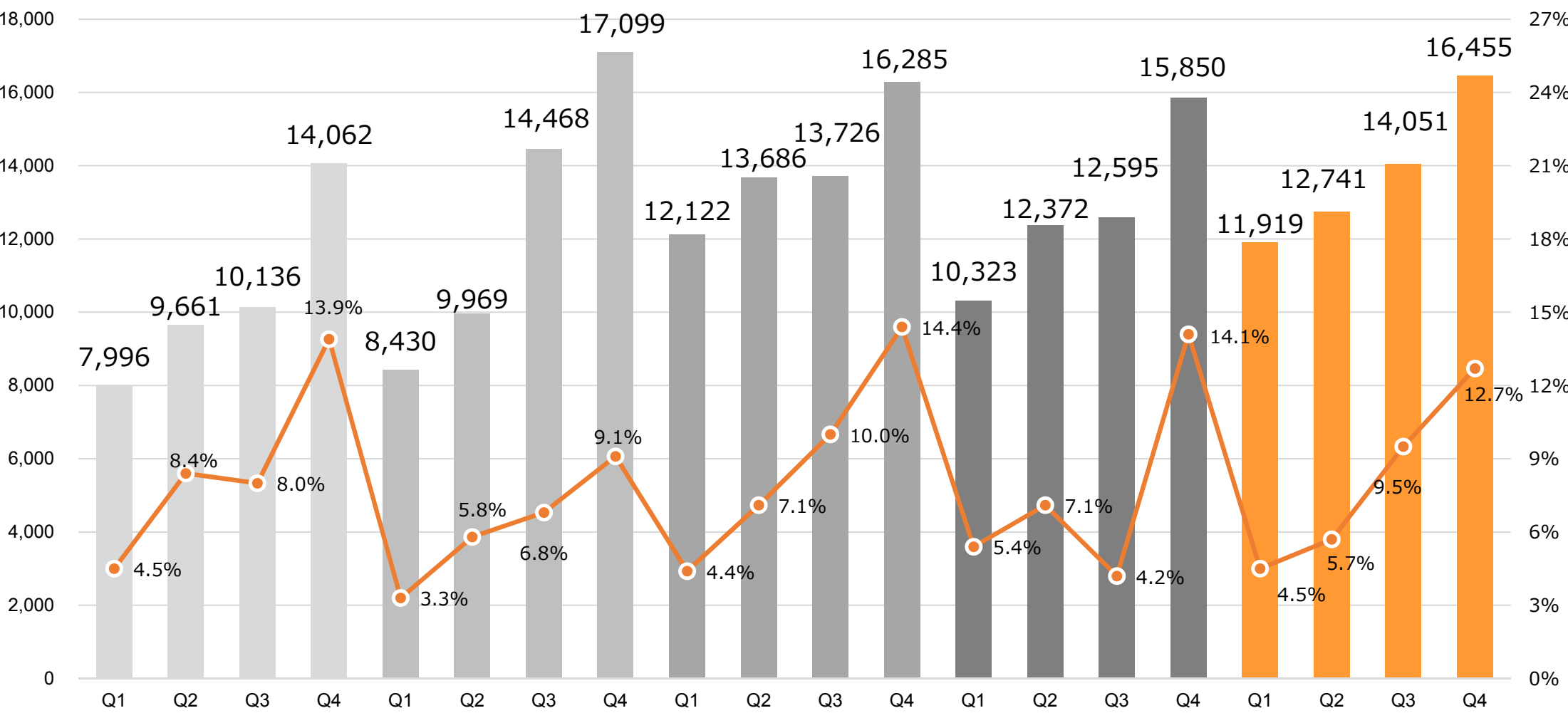


## 地域別売上高比率



	2014/3期	2015/3期	2016/3期	2017/3期	2018/3期
海外比率	72.2%	76.6%	77.3%	74.3%	76.0%
為替平均レート					
USD	100.2円	109.9円	120.1円	108.4円	110.9円
CAD	95.1円	96.5円	91.8円	82.5円	86.5円
EUR	134.4円	138.8円	132.6円	118.8円	129.7円
RMB	15.9円	17.2円	19.2円	16.4円	16.6円
設備投資額(百万円)	2,440	1,408	2,013	2,393	1,411
減価償却費(百万円)	954	1,311	1,814	1,792	2,116

# 売上高および営業利益率（四半期比較）



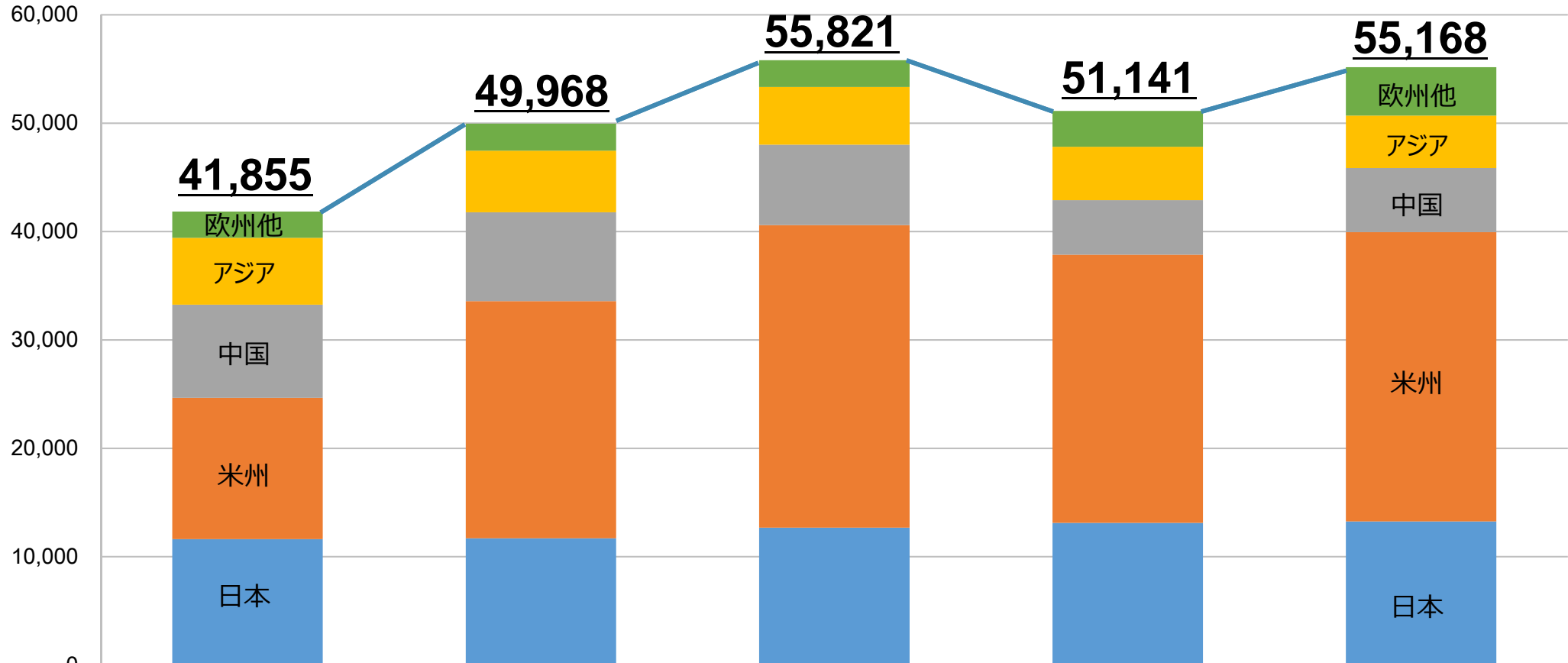
営業利益

360	806	809	2,030	280	575	987	1,553	538	966	1,371	2,345	561	876	532	2,239	538	730	1,338	2,092
-----	-----	-----	-------	-----	-----	-----	-------	-----	-----	-------	-------	-----	-----	-----	-------	-----	-----	-------	-------

<b>2014/3期</b> 売上高 41,855 営業利益 4,006				<b>2015/3期</b> 売上高 49,968 営業利益 3,395				<b>2016/3期</b> 売上高 55,821 営業利益 5,221				<b>2017/3期</b> 売上高 51,141 営業利益 4,208				<b>2018/3期</b> 売上高 55,168 営業利益 4,698			
--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

# 地域別売上高推移

(単位：百万円)



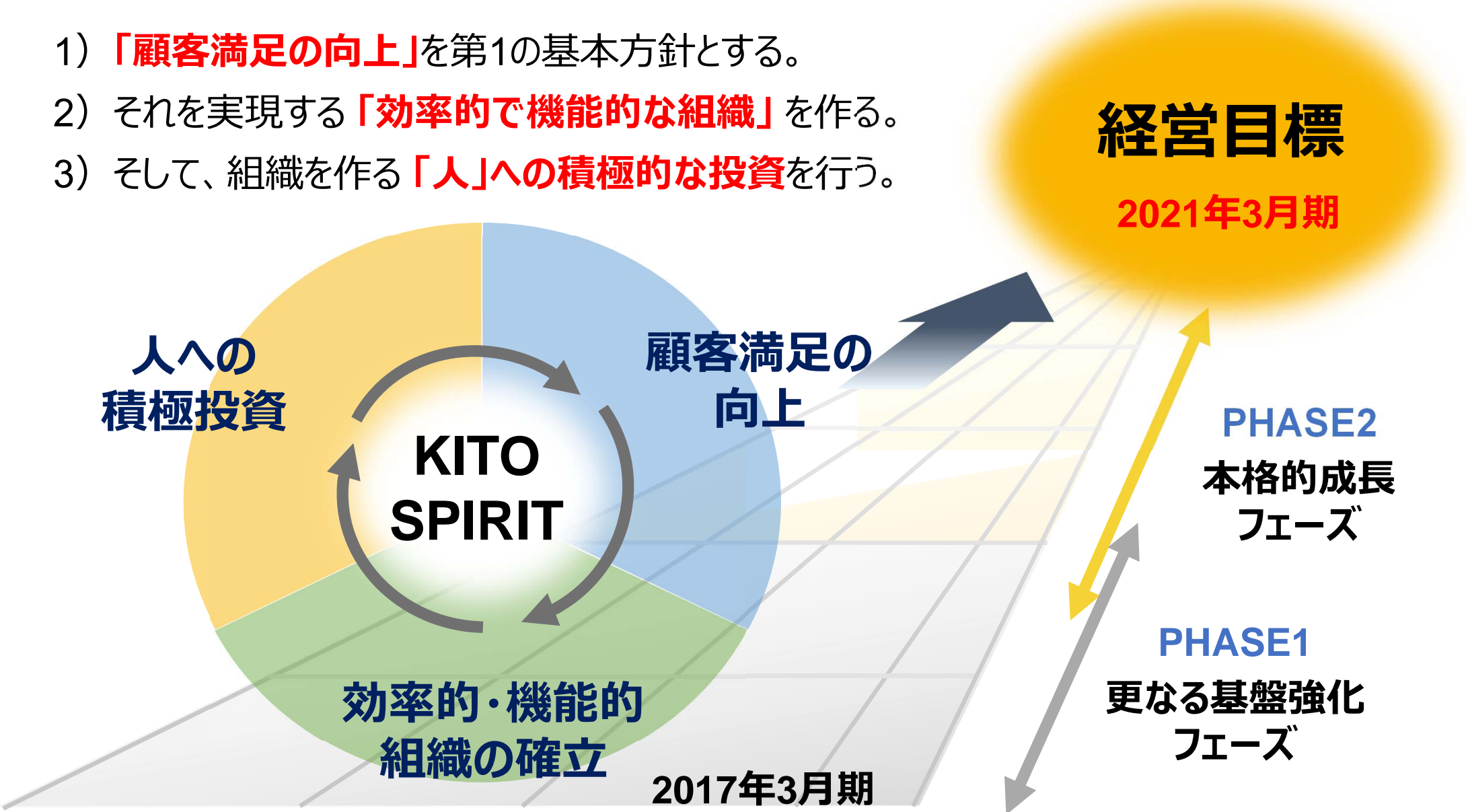
	2014/3期	2015/3期	2016/3期	2017/3期	2018/3期
■ 欧州他	2,424	2,500	2,479	3,308	4,465
■ アジア	6,168	5,676	5,321	4,925	4,837
■ 中国	8,604	8,198	7,418	5,034	5,903
■ 米州	13,034	21,888	27,909	24,742	26,700
■ 日本	11,625	11,702	12,692	13,129	13,261

# 中期経営計画 (2017年3月期-2021年3月期)

# 基本方針

## 3つの基本方針による“KITO SPIRIT”を原動力とした推進

- 1) 「顧客満足の上昇」を第1の基本方針とする。
- 2) それを実現する「効率的で機能的な組織」を作る。
- 3) そして、組織を作る「人」への積極的な投資を行う。





## 3つの経営目標に向け 収益倍増を目指す

Financial Target

### 1 高収益体質への回帰

- ・生産設備リニューアル
- ・高収益事業への集中

### 2 製品ポートフォリオ拡充による成長

- ・新製品の投入
- ・M&Aによる拡充
- ・既存製品の新市場への投入加速

### 3 真のグローバル企業への組織進化

- ・グローバル人材の採用と育成
- ・主要拠点における統一基幹システムの導入
- ・グループ内統一マーケティング・データベースの構築

**EBITDA**  
**約2倍増**  
**130億円**

**74億円**

2016年3月期

2021年3月期

“Lifting Expectations”

